

平成 20 年度主要目標

主題：「保健・医療・福祉領域における専門性の向上と情報の統合・発信」

日本の保健・医療・福祉制度の変化に対し、迅速に対応するための協会組織並びに会員相互の“協会情報共有システム”を整備し、各部署の取り組み状況の把握、会員への情報発信に活用できる仕組みの構築。さらに、「新作業療法 5 ヶ年戦略（平成 20 年度～平成 24 年度）」に基づき、保健・医療・福祉関連領域における作業療法士配置の行動目標を策定する。特に、介護保険領域への人材輩出、障害者自立支援法、特別支援教育等の福祉・教育関連の領域における作業療法の機能・役割の明示を優先事項として取り組む。併せて、養成教育及び生涯教育制度の水準の確立を推進するものとする。さらに、生涯教育制度における認定作業療法士の養成を推し進めるとともに対外的な広報への取り組みも行う。

また、WFOT 世界会議（2014 年）招致事業と併せて国際的事業を推進する。

1. 保健・医療・福祉制度改革への対応並びに教育関連領域への作業療法の推進

- 1) 制度改定への継続的対応並びに会員に対する対策の迅速な提示

[保険部・保健福祉部・学術部]

- 2) 障害者自立支援法・特別支援教育等への作業療法の啓発・推進

[事業部・保健福祉部・学術部]

- 3) 介護保険領域における作業療法士の人材輩出

[養成教育部・生涯教育部]

2. 制度改革に対応するための協会内における双方向型情報共有システムの構築

- 1) 協会組織内の情報共有化の推進（報告書等の書式統一化と開示）

[企画調整委員会・調査部]

- 2) 会員への情報配信の迅速化と会員からの情報収集システムの再構築

[事務局・広報部・調査部]

※協会ホームページ「ご相談・お問い合わせ窓口」、「WEB 版会員用掲示板」の普及・活用、並びに新たな情報配信システム（メールマガジン等）の検討

3. 作業療法の質の保証

- 1) 福祉領域・教育関連領域における人材育成

[事業部・養成教育部・生涯教育部]

- 2) 養成教育水準の提示

[養成教育部]

- 3) 認定作業療法士制度の活発な運用と検証、専門作業療法士制度の確立

[生涯教育部]

- 4) 課題研究・事例登録制度の普及・活用

[学術部]

- 5) 国際的視野を持つ作業療法士の育成

[国際部・事業部・生涯教育部]

4. 作業療法の啓発

- 1) WFOT 世界会議（2014 年）招致事業並びに国際交流活動の推進

[招致委員会・国際部]

- 2) 認定作業療法士制度の普及・広報活動

[広報部・生涯教育部]